

ヒアリング項目

日本放送協会

1. 常時同時配信に関するニーズ

- 同時配信を常時提供することのニーズについて
- 同時配信の対象分野（ニュース、スポーツ等）を限定すべきとの意見について
- 試験的提供の拡大についての具体的な要望

2. 常時同時配信で想定する財源

- 「受信料制度を毀損しない仕組み」についての考え方
- 「常時同時配信を実際に視聴しうる環境を作った人に負担をお願いする」仕組みとは「受益者負担」の意味なのか
- 想定している「具体的な仕組み」について

3. 常時同時配信で想定するコスト

- 試算に当たっての前提条件について
- 費用の低廉化に向けた研究とは何を想定しているのか

4. 常時同時配信の具体的な姿

- 現時点でのサービスイメージ

(一社) 日本民間放送連盟

1. 常時同時配信で想定する財源

- 常時同時配信の財源に関するNHKの説明について

2. 常時同時配信で想定するコスト

- 常時同時配信のコストに関するNHKの説明について

3. 二元体制への影響について

- ネット配信を行う場合の二元体制の考え方について
- ネットの世界におけるNHKと民放のあるべき姿について

民放キー局

1. 常時同時配信に関するニーズ

- 同時配信と見逃し配信をセットで提供することの意義（Tverの視聴ニーズ、同時配信メニューの追加等）
- 同時配信の対象分野（ニュース、スポーツ等）を限定すべきとの意見について

2. 常時同時配信に関するビジネスモデル

- 常時同時配信のビジネスモデルは成り立ちうるか、一部の番組のみの同時配信についてはどうか
- ビジネスモデルが成り立つ場合、試行的なものを含めて現に取り組んでいる事例
- ビジネスモデルが成り立たない場合の視聴環境、事業環境への影響について
- NHKによる常時同時配信が実現した場合に、自社のビジネス展開に支障をきたすのであればその例
- （2030年頃までの）放送とネットの関係について、中期的な展望